

2022 年度事業報告書

特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会

I 事業期間

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

II 事業の成果

2022 年度は、2019 年度末に端を発した新型コロナウイルス感染症拡大が秋口をピークに徐々に沈静化したこともあり、本協議会が事務局を担う「ワン・ワールド・フェスティバル」を 3 年ぶりに会場（リアル）で開催することができました。コロナ前の状況にはまだ戻ってはいませんが、イベントのリアル開催に伴い、様々なアクターとの交流を再開し、従来にも増して充実した国際交流及び活動が出来たことを報告させていただきます。

まず、本協議会が NGO/NPO のためのプラットフォームとしての役割を全うすべく、会員との連携及び情報交換する機会を増やすために、メールマガジンの充実を図りました。また、会員メンバーとの情報の共有、相互配信等を通じて情報システムの充実を図りました。また、Twitter 及び Facebook 等の SNS を有効に活用しながら、かなりの頻度で配信を継続することができました。今後も会員メンバーとの連携を密にすることで、会員間のコミュニケーションを深める対応を心掛けたいと考えています。

本協議会が事務局機能を担う「ワン・ワールド・フェスティバル」は、3 年ぶりの会場での開催及びオンラインを加味したハイブリッド開催となりました。会場でのメインは、NPO/NGO 等の 61 団体の出展を頂いた「出展ブース」です。このブースは、SDGs17 項目の達成を目指した活動を紹介するもので、出展団体の様々な活動を「見て、聞いて、理解する」ことができる、大変貴重なコンテンツとなっています。

また、カンテレ扇町スクエアでは「民族舞踊・民族音楽」を楽しんでいただき、扇町公園では「みんなでスポーツ」として、クリケット・ボッチャ等のスポーツを楽しんでいただけるワークショップを実施しました。同時にメキシコにルーツのある大阪のルチャリブレ「大阪プロレス」の参加、各国料理が楽しめるキッチンカーの出店等、天候に恵まれたこともあり多くの来場者にお越しいただき大変な盛り上がりとなりました。

本協議会は、ワン・ワールド・フェスティバルの事務局としてプラットフォーム的な役割を果たすことで、今後も様々なセクターとのコンセンサス及びコラボレーションを重ねながら、2030 年のアジェンダ達成のために活動を継続して参ります。

2022 年度のこどもプラザの運営については、昨年同様コロナ禍で ZOOM での対応を強いられましたが、事業を休止することなく 1 年間継続することができました。

また、2022 年度は、資金的な手当として、積水ハウスから 85 万円、大阪市から約 100 万円の助成金をいただき、運営経費を賄いました。2023 年以降については、大阪市及び積水ハウスの助成を受けることはできませんので、新たな助成金を獲得すべく申請を行っているところです。

2022 年度と同様の助成金の獲得を目指し、今後とも外国にルーツのあるこども達の「日本語学習のサポート」の体制を強化し、こども達が日本の教育システムに無理なく馴染めるサポートを継続してまいります。また同時に、保護者の日本語習得のサポート及び日本での生活情報のプラットフォーム的な役割も含め、多文化共生の事業を推進して参ります。

Ⅲ 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

2. 収入 17,727,550 円 支出 19,712,761 円

(1) NGO/NPO 間の連携促進事業（会員向け事業）（2023 年 3 月 31 日現在）

収入 4,344,512 円 支出 6,394,838 円

①会員サービスの充実

内 容	会員間の情報交換、経験の共有を図るとともに、会員それぞれが有する専門性や経験情報・人材を活かせるように連携や協働の促進に努めました。 ①会員名簿の発行 発行部数 50 部 配布先 会員団体 ②講演会の開催 ロシアによるウクライナ侵攻という信じられない蛮行を目の当たりにし、ウクライナの現況について状況を知りたいとの多くの声をいただき、日本ウクライナ文化交流協会会長小野元裕氏の講演会を実施しました。 開催日時：令和 4 年 6 月 23 日（木）15:15～16:15 講演 16:15～16:45 質疑応答 ※当日は、会員団体の皆様の会場出席及び ZOOM では会員団体の職員の皆様にもご 参加いただきました。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	令和 4 年 6 月
事 業 の 対 象 者	正会員 35 団体、会員以外の団体も参加

②会員への情報提供と会員活動への広報協力

内 容	①会員への情報提供 ② ホームページ・SNS による情報発信 ③ワン・ワールド・フェスティバルが 3 年ぶりに開催となり、会場での会員団体の紹介、また SNS を利用した配信を行うことで広く告知ができました。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	随時
事 業 の 対 象 者	正会員およびその他の団体、ボランティア等

(2) NGO/NPO と多分野の団体、他機関との連携促進事業

収入 11,499,488 円 支出 11,546,430 円

① 第 30 回ワン・ワールド・フェスティバル

内 容	2023 年 2 月 4 日、5 日の両日、記念すべき第 30 回ワン・ワールド・フェスティバル（以下「OWF」という。）を、過去 2 回の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、会場（リアル）開催の中止というアクシデントを乗り越え、3 年ぶりの会場（リアル）開催を実現致しました。30 回の記念となる今回の開催は、過去 2 回のオンラインの良さを残しつつ、「オンライン」＋「会場（リアル）」の同時開催（ハイブリッド開催）といたしました。また、山西福祉記念会館会場ではオンラインでのライブ配信も実施いたしました。 会場でのメインは、NPO/NGO 等の 61 団体に出展を頂いた「展示ブース」です。ここでは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動が紹介され、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができます。2030 年に向けて SDGs の目標を達成することが、「人権を尊重した社会」「誰一人取り残さない社会」の実現へと繋がります。このような取り組みが、輝かしい未来社会に向かって一歩を踏み出す動機づけになると確信しているところです。今回は、そのような場を提供できたと自負しています。 また、北区民センター会場及び山西福祉記念会館会場では、出展団体によるセミナーやセッションも開催され、市民が参加できる貴重な場を設けて頂き
-----	--

	ました。またカンテレ扇町スクエア 1 階ステージでは各国の民族舞踊や民族音楽等を披露することができました。扇町公園会場では「みんなでスポーツ」として、クリケット競技、ボッチャ競技等のほか、こどもたちのサッカーイベントも開催しました。また、メキシコ発祥のルチャリブレを起源とする大阪プロレスにも参加していただきました。さらに、各国料理を楽しんでいただける食事ブースではキッチンカーも出店し、天候に恵まれたこともあり多くの来場者にお越しいただき、大変な盛り上がりとなりました。また、オンラインにて、NGO/NPO 等団体の動画による活動報告「オンラインブース」、企業の SDG s への取り組みを紹介した「SDGs 交流ひろば」、SDGs を多角的に捉えて映像化した「動画コンテスト」も実施いたしました。 この開催に当たりましては、参加して頂いた NGO/NPO のほか、場所を無償でお貸しくださり共催としてご協力いただきました一般財団法人大阪市コミュニティ協会北区支部協議会の皆様、そして外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、大阪府、大阪市、堺市をはじめとする省庁・自治体並びに教育委員会、各種団体、学校、企業、そして大学生や高校生をはじめとする若い方々も含め、極めて多方面から多くの関係者の方々からの多大なご支援、ご協力を頂きました。改めて心から感謝を申し上げます。
実 施 場 所	①北区民センター、カンテレ扇町スクエア 1 階ステージ、扇町公園、山西福祉記念会館 3 階会議室 ②ワン・ワールド・フェスティバル特設サイト
実 施 日 時	●会場（リアル）開催：2023 年 2 月 4 日（土）～2 月 5 日（日） ●オンライン開催：2023 年 2 月 1 日（水）～2 月 28 日（火） ●ライブ配信：2023 年 2 月 4 日（土）～2 月 5 日（日）
事 業 の 対 象 者	国際交流・協力活動に対する意識を持つ市民 ●会場（リアル）開催入場者：24,500 人、 ●オンライン開催視聴者数：25,000 人

（３）国際交流・国際協力・市民活動に関する情報収集と提供事業

収入 0 円 支出 0 円

①NGO／NPO に関する情報の収集・提供事業

内 容	関係機関からの情報を整理し、ホームページ上で「新着情報」として取り上げ、タイムリーに配信することができました。また、PICK UP 情報として、イベントの情報を詳しく紹介するコーナーも設け、情報発信の充実を図りました。各団体からの掲載の依頼なども新着情報と併せてメールマガジンに掲載し配信を行っています。
実 施 場 所	国内外全域
実 施 日 時	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
事 業 の 対 象 者	国際交流・協力活動に対する意識を持つ市民

②人材育成事業

内 容	昨年と同様に、学校法人エール学園の推薦により、2 名の留学生を受け入れ、国際交流・協力を目的とした「ワン・ワールド・フェスティバル」の開催に伴う、企画、折衝、プログラムの制作の補助、イベント参加者の対応等、イベント開催の運営の実践を学ぶインターンシップを実施しました。
実 施 場 所	当法人事務所
実 施 日 時	2022 年 10 月 1 日～2023 年 2 月 25 日
事 業 の 対 象 者	学校法人エール学園 留学生 2 名

(4) 開発教育・市民意識啓発と活動への参加促進事業

内 容	大学生、高校生及び市民に向け、SDGs の目標達成を目指した活動の一環として、OWF のプログラム（ライブ配信イベント）として「SDGs 交流ひろば」のシンポジウムに大学生を招待し、企業とのセッションを行う等、ワン・ワールド・フェスティバルの次世代のリーダーを育てる活動を実施しました。また、コアボランティアのリーダーを育成するため、ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会にコアボランティアも参加し、実行委員会で発言及び提案等を積極的に行うことで、社会的インパクトのある事業へと変革を行っているところです。 ■SDGs 交流ひろばシンポジウム：「サステナブル社会の実現に向けて」企業の SDGs の取組について、学生からの質問を基に、企業の SDGs の取り組みについて再考する機会を設けるためのシンポジウムの開催。
実 施 場 所	山西福祉記念会館
実 施 日 時	2023 年 2 月 4 日 14:30～16:00
事 業 の 対 象 者	学生、一般市民

(5) NGO/NPO の基盤強化事業

収入 1,883,550 円 支出 1,771,493 円

①多文化共生事業

「こどもプラザ」

内 容	外国にルーツのあるこどもたちが直面している困難な問題、1) 日本語の習得と学校での授業についていけない問題、2) 日本文化に馴染めないこどもたちの居場所づくりの問題、を解決するための施設として「こどもプラザ」を開設し、困難に直面しているこどもたちの支援活動を行っています。また、同時に学校の通知等を理解できないために、こどもサポートができない保護者（特に母親）の日本語の習得及び日常の生活等での悩みのサポートを行っています。将来的には、大阪市内を中心に必要と思われる地域に拠点を立ち上げ、他団体とも連携を取りながら順次拡大してゆく予定です。 〔実施回数及び参加人数〕 <table><tr><td>・こどもの日本語習得実施回数</td><td>48 回</td><td>延べ参加人数</td><td>231 人</td></tr><tr><td>・保護者の日本語習得実施回数</td><td>48 回</td><td>延べ参加人数</td><td>136 人</td></tr></table>				・こどもの日本語習得実施回数	48 回	延べ参加人数	231 人	・保護者の日本語習得実施回数	48 回	延べ参加人数	136 人
・こどもの日本語習得実施回数	48 回	延べ参加人数	231 人									
・保護者の日本語習得実施回数	48 回	延べ参加人数	136 人									
実 施 場 所	当法人事務所											
実 施 日 時	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日 毎週水曜日 17 時～19 時											
事 業 の 対 象 者	大阪市在住の外国から来日した小学生、保護者（母親）											

(6) 調査研究・提言事業

収入 0 円 支出 0 円

①審議会、委員会への参加

内 容	当協議会は、国際交流・協力の中間支援組織としての経験や情報、及び NPO 法人としての視点を活かすとともに当該関係者の実情や声を施策に反映できるように努め、OWF 実行委員会等で得られた情報を事業に活用することで、その貴重な情報を関係者にフィードバックすることに努めて参りました。特にこどもプラザの外国にルーツのあるこどもたちの受入状況及び日本語習得の進捗情報等については、社会的な問題を解決するための有用な情報となり、東住吉区、平野区、生野区の小学校校長会での情報提供を行っています。今後も継続して大阪市教育局事務局及び近隣区役所の小学校校長会との連携を継続することとしています。
実 施 場 所	生野・東住吉・平野区役所、大阪市教育局事務局、当事務所
実 施 日 時	随時
事 業 の 対 象 者	在阪外国人、当協議会に関係するボランティア、行政他

IV 社員総会の開催状況

2022 年度通常総会

(日 時) 2022 年 6 月 23 日 (木) 14 時 00 分～15 時 00 分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18)
(社員総数) 35 団体
(出席者数) 35 団体 (うち委任状出席者 27 団体)
(内 容) 第 1 号議案 2020 年度 (令和 2 年度) 事業報告並びに決算 (案) の件
第 2 号議案 2021 年度 (令和 3 年度) 事業計画並びに予算 (案) の件
第 3 号議案 役員改選の件

V 理事会その他の役員会の開催状況

第 64 回理事会

(日 時) 2022 年 6 月 2 日 (金) 14 時 00 分～16 時 00 分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18)
(理事総数) 16 名
(出席者数) 16 名 (うち委任状出席者 5 名)
(内 容) 第 1 号議案 2021 年度 (令和 3 年度) 事業報告・活動計算書 (案)
第 2 号議案 2022 年 (令和 4 年度) 事業計画・活動予算書 (案)
第 3 号議案 理事変更

第 65 回理事会

(日 時) 2022 年 9 月 26 日 (月) 14 時 00 分～16 時 00 分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18)
(理事総数) 16 名
(出席者数) 16 名 (うち委任状出席者 9 名)
(内 容) 第 1 号議案 就業規則の改正及び育児・介護休業等に関する規定の制定 (案)
第 2 号議案 賃金規程の改正 (案)
第 3 号議案 個人情報保護規定の制定 (案)

第 66 回理事会

(日 時) 2022 年 12 月 8 日 (木) 14 時 00 分～16 時 00 分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18)
(理事総数) 16 名
(出席者数) 16 名 (うち委任状出席者 7 名)
(内 容) 第 1 号議案 2022 年度中間報告
第 2 号議案 中期事業計画

第 67 回理事会

(日 時) 2023 年 3 月 29 日 (水) 14 時 00 分～16 時 00 分
(場 所) 関西国際交流団体協議会杭全事務所 会議室
(大阪市東住吉区杭全 1 丁目 15-18)
(理事総数) 16 名
(出席者数) 16 名 (うち委任状出席者 7 名)
(内 容) 第 1 号議案 2023 年度 (令和 5 年度) 予算 (案) の承認
第 2 号議案 中長期計画